

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月20日

事業所名：児童発達支援 こばんはうすくら さいたま見沼教室

対象人数（保護者）24人 回答者数 17人 回収 70.8%

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			教室、ホール、中庭と十分な活動スペースがあると感じます。	ありがとうございます。 各教室、ホール、中庭を活動に合わせて使用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16		1	面談や参観にお伺いしますが、清潔で掃除が行き届いていると感じます。	ありがとうございます。 毎日の掃除の他、曜日を決めて細かい清掃にも心がけています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1 こだわりのような行動がみられるが、将来生活していく上で困らないようにこうした方がいいとアドバイスをもらったり、活動ではこのように意識しているとお聞きしたり、とても参考になります。	ありがとうございます。 今後も継続できるようにしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16		1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	10		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		2	面談やモニタリングを希望すればその機会を設けて頂き大変ありがたいです。	ありがとうございます。 今後も継続させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	14		3	去年よりもさらに意識してそのような機会を増やしていただいているように感じます。	リユース会等今後も交流できる機会を検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14		3		
非常時等の対応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		4		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16		1		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		1		
満足度	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1		
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	16		1		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15		2		
	29 事業所の支援に満足していますか。	17			通いはじめたばかりの為判断が難しかったです。 これからよろしく願ひいたします。	これからこばんはうすを知っていただくと嬉しいです。 よろしく願ひいたします。

公表日

2025 年 12月 20日

事業所名

こばんはうさくら さいたま見沼教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	人数の多い日にはホールを使って活動場所を増やしている 午後療育も始まり午前と午後で少し分散することが出来ている	利用定員が多い場合は活動しにくいこともある 児発の部屋での活動は狭く危険だと感じる日がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	新入園児がいる時は多めのスタッフを配置するなど安全な配置数にすることができている	個別の配慮が必要な児重もおり配置数が少ないと感じることもある 個別対応児重が増えている 時間帯や日によって人手が足りなく目が行き届かないこともある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	ドアを用いて生活空間を分けることにより朝の支度など集中して取り組めるような環境を作るようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃は毎日、または曜日毎に決められたところを清掃している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	ひみつの部屋等必要に応じて個別の空間として利用している	個別に部屋を利用する頻度は低い
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝と夕方にスタッフで共有するようにしている 日々の振り返りや会議でスタッフ同士が話し合い共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表の結果は全スタッフに公開している	保護者等の意向を把握する機会があまりない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	個別に相談できるように時間を作ってもらえている	スタッフとの話し合いの場は設けてくれま すが改善策・回答はもらえない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による外部評価が行われているか 分からない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	会議等を利用し感染症や災害児の対応の研修など定期的に行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	会議などで全体で児童についての話し合い、共有を行い、個別支援計画や細分化が適切に行われるようにしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画書はファイリングをしその日のケア記録の入力の際などに常に個人の計画を確認しながらそれに沿った支援が出来るようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	計画的に活動プログラムを設定していくことで様々なプログラムを経験出来るようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	微細活動など一人ひとりがじっくりと取り組める活動や椅子取りゲーム等集団での遊びをバランスよく取り入れるようにしている	職員の数が少なく個別での活動があまり出来ない 個別活動の支援は中々できない

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日チームで振り返りを行いその日の出来事で配慮が必要だったことを話し合い共通理解ができるようにしている	毎日行うようにしているが時間がなく出来ない日もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	振り返りを行いその日の職員だけでなくいなかった職員にも伝えられるよう日報等も利用している	ケア記録を元に支援計画は作成しているが、検証・改善に繋がっているかわからない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	月に1回はモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	幼稚園訪問を行う等相互理解を図った上で適切な支援を行えるようにしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	3		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	卒園児やその兄弟などをイベントに招き交流する機会がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎の時をはじめ日頃からその日の状態を伝えあうと共に面談やサービス提供記録にてこぼんでの様子を伝えている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	リユース会を設け保護者同士の交流の場を作り実行していた	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやInstagramをはじめ色々な方法でこぼんでの活動の様子や取り組みを知らせるようにしている Instagramで活動の様子を発信している	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域住民の理解と協力、関係づくりができていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	防犯においては警察官を招き実際に色々なケースを想定した上でどう対応すべきか講習をしてもらった	動画を見ての研修はあったが実際に訓練をしてみたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	地震や火事、水害などの発生に備え定期的に避難の訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アレルギー児の対応の仕方など服薬や対応の仕方は全スタッフで共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		不審者訓練等を行ったが、警察の方の指導「散歩のときのホイッスル」「保護者の名札」を作成していない
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	引渡し訓練を行い実際に何かあった時の保護者との連携が図れるようにしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	生活の中で危ないなと思ったことがあった時には書類にしたりミーティングをして全体共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		